

栃木県立美術館企画展関連資料展示

岩田色ガラスの世界 — 岩田藤七・久利・糸子 —

2021年4月17日(土)から6月27日(日)まで、栃木県立美術館で企画展「岩田色ガラスの世界 — 岩田藤七・久利・糸子 —」が開催されます。県立図書館では、これに合わせて所蔵資料の中から関連する資料をご紹介します。

●岩田藤七 (明治26(1893)年～昭和55(1980)年)

東京日本橋の呉服商に生まれる。東京美術学校金工科および西洋画科で彫金、洋画、彫刻を学んだのち、ガラス工芸の道を志した。昭和3(1928)年の第9回帝国美術展覧会より連続3回特選となり、以後展覧会に毎年出品する。昭和6(1931)年、東京都葛飾区に岩田工芸硝子株式会社を設立した。実用的な工業製品がガラスの主流であった昭和初期に、独力で色ガラスの製法を習得し、日本における色ガラス芸術の道を切り拓いた。

久利は藤七の長男、糸子はその夫人であり、久利・糸子夫妻の長女イワタルリもガラス作家である。

(参考:『茶道具の名工・作家名鑑』(淡交社編集局/編 淡交社 2018)、『現代ガラスの魅力』(武田厚/芸術新聞社 1992))

●色ガラス とは

色ガラスは、ガラスの原料に目的に応じた発色剤を添加して作られる。ただし、発色の条件は複雑で、ガラスの組成分や熔融条件などによって変化する。色ガラスは古代にさかのぼって製作されたが、中世のステンドグラスによって著しい発展をみた。

(参考:『ガラスのはなし』(東京アド・バンク/編、発行 1981))

■岩田工芸硝子について

網掛けの資料は館内でご覧ください

書名	著者名	請求記号	資料コード
日本の硝子史	ドロシ・ブレイア/著, 上松敏明[ほか]/訳, 小川晋永/編	751.5/17	1104329865
現代ガラスの魅力	武田厚/著	751.5/8	1103481428
茶道具の名工・作家名鑑	淡交社編集局/編	791.5/19	1106199092

■作品を見る

暮しの手帖 第三世紀 第81号 通号289号(1999年 8.9月) p.18-27「輝くガラス 岩田藤七・久利展」(岩田糸子)	暮しの手帖社/発行	63	1300719109
日本のガラス	土屋良雄/著, 藤森武/写真	751/295	1101773925
カラー日本の工芸 9 玉・ガラス	栄久庵憲司[ほか]/監修	750.8/4/9	1100917515

■ガラスについて

ガラスのはなし	東京アド・バンク/編	751/212	1101772539
ガラス入門	由水常雄/著	751/250	1101772646
火の贈りもの ガラス, 鏡, トンボ玉, ステンドグラス	由水常雄/著	751/164	1101772240
ガラスの技術史	黒川高明/著	573.5/8	1104932312
ガラスの文明史	黒川高明/著	751.5/39	1105326944
現代ガラスの表現	武田厚/著	751.5/21	1104309271

■日本のガラスについて

日本のガラス その見方、楽しみ方	戸澤道夫/編	751.5/29	1104558471
ガラスの旅	佐藤潤四郎/著	751/222	1101772513
世界ガラス美術全集 第5巻	由水常雄/編	751.5/7/5	1103431720

本リストの資料は3階地域資料室の展示コーナーにあります。

栃木県立美術館がこれまでに開催した企画展の図録は、3階地域資料室にあります。(請求番号T706/1/)



〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田1-3-23
TEL 028-622-5111 (代表)
028-622-5112 (本の照会・相談)
HP <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>